

福島市農業委員会だより 第185号

令和5年12月

編集：福島市農業委員会事務局 発行：福島市農業委員会 〒960-8601 福島市五老内町3番1号 電話 024-525-3779(直通)



農業ふれあい体験 =今年「酪農」がテーマ=

作物の生育環境や生育に適した地域の特性、農作業の工程や必要性などを、体験しながら「農業」を学ぶ機会として、農業ふれあい体験事業を行いました。

第1回

7月8日

佐々木牧場で牛舎や牛乳工場の見学と、「モッツアレラチーズの成形体験」を行いました。

牛舎・牛乳工場見学



搾乳器に指を入れて、搾乳の動きを体験

モッツアレラチーズの成形体験



第2回

9月2日

在庭坂のソーラーパネルの下で放牧されている仔牛や、佐原のわさび田を見学してきました！

ソーラーシェアリングと放牧



わさび田見学



田の中に入って草取り体験

第3回

11月11日

「農業と環境を考える」をテーマに、炭化器で炭作り体験をしました。できた炭でさつまいもとチーズを焼いて試食しました。

炭化器で炭づくり体験



炭化器で作った「飾り炭」



さつまいもとチーズを焼いて食べました。おいしい！



参加者からの声

- 給食に出てくる牛乳にたくさんの方が驚いた。
- ソーラーと牛の放牧の組み合わせに驚いた。温暖化対策としてもよいと思った。
- わさび田を初めて見た。こういう場所を残してほしいし、知ってほしいと思った。
- 炭化器の効果、炭の効能がよく分かった。炭化器の取り組みがもっと広がってほしい。
- まますます農業にふれあいたくなった。
- 次は野菜作り体験をしてみたい。(種まき～収穫)

農地の適正な管理をお願いします。



市長に『意見書』提出
 農地利用最適化推進施策についての意見を集約し、本市の農業者が将来にわたり意欲と希望をもって農業に従事するため、その施策について具体的な意見を十月十一日に市長に提出しました。

**昨年の意見書で
予算に反映された項目**

- 人・農地プラン法定化推進 (9,024千円)
- 目標地図作成 (2,256千円)
- 農業経営の安定化支援 (6,893千円)
- 鳥獣被害対策実施隊員の確保 (1,224千円)
- ツキノワグマ被害特別対策 (2,151千円)
- スマート農業推進 (1,000千円)
- 米粉等利用拡大支援 (6,672千円)
- 肥料価格高騰対策支援 (11,200千円)

- 【新規・内容を追加した意見】** ★新規意見 ●追加意見
- ★女性農業者の活躍に向けた取組みについて
働きやすい環境の整備／家族経営協定の広報
 - ★原発事故に伴う国・県等への働きかけについて
支援制度継続の国・県等への働きかけ
 - 地域計画の策定について
進行状況を含めたきめ細やかな広報
 - 遊休農地解消に向けた支援について
商工業者や有識者との意見交換の場を設ける
 - 気象災害対策について
防霜ファンの導入経費や使用期間外の電気料金の市独自の補助
 - 循環型社会の実現について
循環型に取り組む企業の誘致／地産地消の推進
 - 生産資材等の高騰対策について
規格外の農産物を流通する仕組みの検討／財政支援拡充

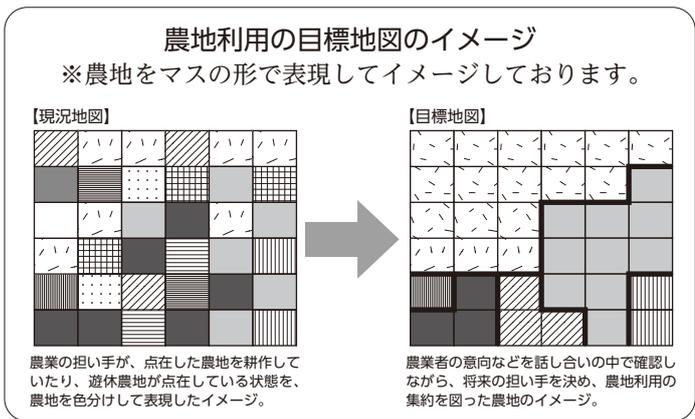
地域計画策定への 取り組み

将来へ向け地域が目指したい農業や農地利用の姿(在り方)を考えていきます。

農業委員会においては、農地所有者等の意向調査の結果をもとに農地ごとの現状・意向を反映させ、今後の見通し等について分析できる目標地図の素案を作成します。

～地域計画策定までの流れ～

- ① 令和5年1月、地域計画を策定する集落(エリア)を市内全体で36ヵ所設置
- ② 令和5年6月、8月、10月の3回に分け農地所有者の方へ将来の農地利用にかかる意向調査を実施
- ③ ②の調査結果をもとに現況地図を見ながら集落(エリア)ごとの話し合い(令和5年度及び令和6年度中)を実施し、地域として目標とすべき農地利用の姿(在り方)を考えていく。
※すでに16ヵ所において1回目の話し合いが実施されました(令和5年11月末日現在)。
- ④ 話し合いなどを重ね、将来の農地利用の『目標地図』を作成します。
- ⑤ 令和7年3月 地域計画の策定



農地パトロールを実施しました

農業委員会では8月から10月にかけて市内全区域の農地の利用状況を調査する農地パトロールを実施しました。農地パトロールは耕作されていない農地（遊休農地）の把握や違反転用の発生防止のため、農業委員・農地利用最適化推進委員を中心に毎年実施しています。また調査した結果、『遊休農地』や『非農地』と判断された農地の所有者には下記の調査を行っています。



調査結果



「遊休農地」と判断された場合

○農地法第32条に基づく利用意向調査票を所有者あてに送付し、確認作業を行います。

「非農地」と判断された場合

○農地が山林化した経過を確認するために地区の「農業委員・農地利用最適化推進委員」が聴き取り調査を行う場合がありますのでご協力をお願いいたします。

※耕作されていない農地（遊休農地）の情報がありましたら、場所と経過を農業委員会事務局へお知らせください。利用意向調査等に活用させていただきます。

将来に安心！ 農業者年金

国民年金に上乗せできる公的な年金「農業者年金」に加入して老後に備えましょう。

◎次の要件を満たす方は加入できます

- ① 65歳未満
※60歳以上は国民年金の任意加入者
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 国民年金第1号被保険者
※保険料納付免除者でないこと



詳しくはこちら

加入者の声



若いうちに加入すると長い期間保険料の国庫補助を受けられるから助かるよね。

保険料の減額・増額が自由にできて、災害などによる収入減に対応できるから安心だね。社会保険料の控除で節税もできるのは、大きなメリットだよ。

受給者の声

国民年金にプラスされて年金収入があるのはとてもありがたいね。



孫に高校合格祝いを奮発し、喜ぶ姿に感激！加入を勧めてくれた親に感謝しているよ。

農地の権利取得には農業委員会の許可が必要です

耕作を目的として農地の所有権移転や賃借権等を設定する際には、農業委員会に農地法第3条許可を申請する必要があります。毎月22日から28日が許可申請の受付期間になりますので、忘れずにお手続きください。申請書は農業委員会事務局に備え付けのもの、またはホームページよりダウンロードしてお使いください。

なお、農地の権利取得に係る要件の1つである「下限面積要件」が令和5年度より撤廃されています。これにより小面積の農地でも権利取得が可能となりましたが、その他の要件は維持されますので、ご注意ください。

※申請前に農業委員会事務局へご相談ください。



申請書はこちら

農地を相続したら…

●法務局へ相続登記の申請が必要です。

令和6年4月1日より相続登記の申請が義務化されます。

相続登記がされないと登記簿を見ても所有者が分からず、事業や取引を進められないといった問題が起こります。詳しくは法務省のホームページをご覧ください。



法務省HP

●農業委員会へ届出が必要です。

法務局での相続登記完了後、届出してください。届出書は農業委員会事務局に備え付けのもの、またはホームページよりダウンロードしてお使いください。

添付書類：登記完了証又は登記簿謄本



届出書はこちら

耕作ができない場合でも、雑草の刈り払いや樹木の伐採、害虫駆除などを行ってください。

視察研修会報告

開催日：10月30日(月)～31日(火)
 場 所：青森県五所川原市農業委員会
 宮城県大崎市農業委員会
 大崎市ジビエ食肉処理加工等施設

5年ぶりの視察研修会を実施、中間管理事業を活用した集積・集約、目標地図素案作成の今後や、有害鳥獣対策について意見交換を行いました。



熱心に質問する委員



ジビエ食肉処理加工等施設で説明に聞き入る

令和5年度福島県下農業委員会大会開催 5名が表彰

11月9日(木)、パルセ飯坂において、令和5年度福島県下農業委員会大会が開催されました。本市からは5名が永年勤続農業委員・農地利用最適化推進委員の表彰を受けました。

受賞者(五十音順)
 大宮 篤司 様
 片平 篤隆 様
 菅野 榮吉 様
 油井 妙子 様
 遊佐 要一郎 様



(左から) 油井妙子様、大宮篤司様、菅野榮吉様、遊佐要一郎様



女性農業委員研修会報告



福島県女性農業委員協議会研修会

開催日：9月28日
 場 所：磐梯熱海「ゆとりろ」

菱沼寿美恵農業委員より「農業ふれあい体験事業(1ページに掲載)」の紹介をしました。菱沼委員は、「どのように調理されたものを食べているのか?という『食』の興味から、どのように育てられたものを口にしているのか?という『農』への興味を持ってもらえるような活動をしたい」と述べました。



北海道・東北ブロック 女性農業委員・農地利用最適化推進委員研修会

開催日：11月7日
 場 所：秋田市 なかいち「にぎわい交流館AU」

東京農業大学教授堀部篤氏が講演し、地域計画、農業委員会活動の中での女性農業委員の役割や、女性農業委員の登用を進めることでどんな効果があるのかなどを話されました。

また、秋田県横手市農業委員会会長、宮城県美里町農業委員会会長の活動発表があり、活発な質問も出され、有意義な研修となりました。



福島市LINE公式アカウントでは、農業関係者向けのお知らせを指定して受信できます。



農地利用最適化推進委員紹介

10月1日より農地利用最適化推進委員となりました。よろしくお願ひします。

氏名 安藤 信夫
 区域 須南区域

《第25期編集委員紹介》

- ・佐藤 國夫 (福島区域)
- ・柴田 徳男 (松川区域)
- ・後藤 洋二 (北福島区域)
- ・半澤 幹夫 (信夫区域)
- ・油井 妙子 (須南区域)
- ・佐藤 裕一 (吾妻区域)
- ・渡邊 正芳 (飯坂区域)

農業委員会の活動が見え～る会報誌 「ミエ～ル通信」

ミエ～ル通信は、農業委員会の重要な業務である「農地利用の最適化の推進」に着目し、日々の活動を『見える化』するための一般市民向け会報誌です。

- ※農地利用の最適化とは
- 1 担い手への農地利用集積・集約化
 - 2 新規参入の促進
 - 3 遊休農地の発生防止・解消



んだんだパンダ (ミエ～ル通信オリジナルキャラクター)

農業委員会の仕事をわかりやすく提供しています!



ホームページで公開中★